

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エレクトリック2008

～審査を振り返って～

株式会社リクルート

住宅カンパニー企画室 住宅総研

主任研究員 阿曾 香

審査の視点

視点1

外皮・設備の省エネ性能

視点2

トータルな省エネへの工夫、先進性

視点3

他の性能と省エネとのバランス

視点4

省エネ住宅の普及への取り組み

大賞

特別賞

優秀賞

地域賞

視点1 外皮・設備の省エネ性能

外皮性能

機器性能

省エネ・最適システムの
設計提案

導入・設置提案、支援

省エネ利用、行動支援 他

太陽光発電の標準装備化

高効率機器の標準装備化

複数システムの提案

消費エネルギーの
「暖房」効率への取組

補助申請の利用推進・代行

視点2 トータルな省エネへの工夫・先進性

設備設計等に係わる取組等

外皮・空間設計等に係わる
取組等

住まい方への提案や
使用時における取組等

オリジナル部材の開発

気密測定の実施

高効率照明器具の標準装備

生産・流通時の省エネ取組

視点3 他の性能と省エネとのバランス

機器、部材設計、選択等
に係わる取組等

空間・間取り設計等
に係わる取組等

使用時における取組等
およびその他

空気清浄・換気システム
(加湿機能)

顧客マニュアル/社内工程など
標準化の取組

メンテナンスが容易な
屋根/壁材の導入

視点4 省エネ住宅普及への取組

省エネ住宅の提案、
情報発信

省エネ住宅の
優先的な選択の促進

省エネ住宅の高性能化、
開発への取組

単価(商品価格)、供給戸数

ローン金利優遇、
電力料金サービス

光熱費データの収集

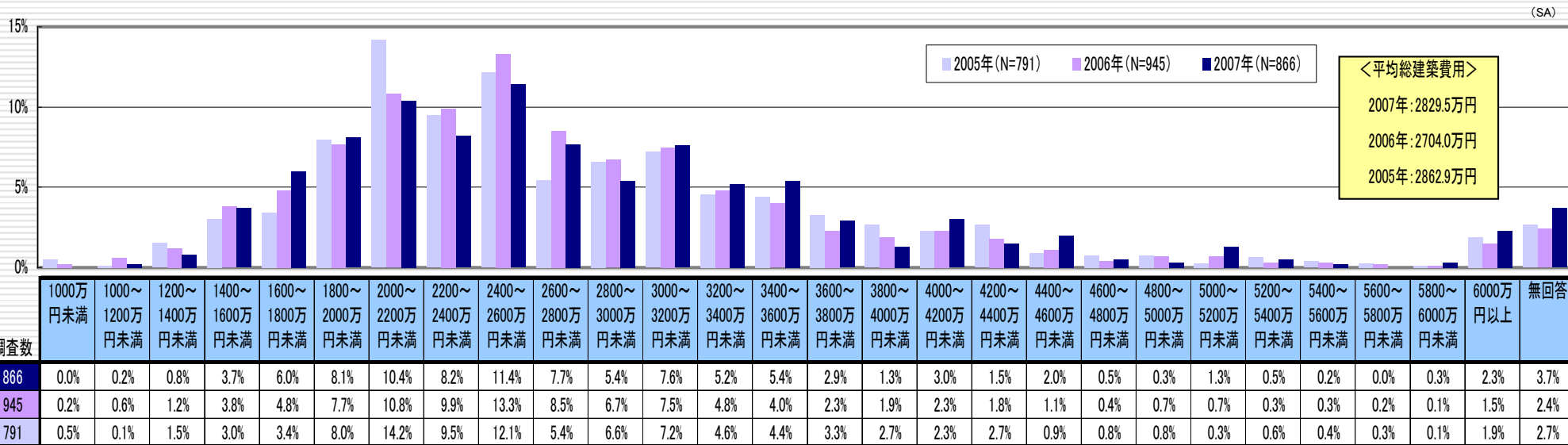
CASBEEの利用、
超長期住宅先導的モデル事業
への登録など

体験宿泊/セミナーなどの実施

注文住宅建築者の総建築費用

- 総建築費用（外構費含む）は、「2000～2600万円未満」が全体の3割を占めるボリュームゾーン。「2400～2600万円未満」が11.4%でもっとも高いが、全般的には分散している。
- 平均総建築費用は2829.5万円。経年では下がるトレンドに。
- 首都圏平均は3164.5万円（首都圏の外構平均費用238.4万円）。

※消費税込み



建築意向者が住宅建築に関し重視する項目

	項目	「重視する」割合
1位	採光・通風のよさ	84.7%
2位	湿気によるダニ・カビの発生を防ぐ	83.7%
3位	窓や壁に発生する結露を防ぐ	83.1%
4位	建材から発生する臭い、 化学物質の発生を防ぐ	81.4%
5位	地震対策（耐震・免震性）	78.8%
6位	耐久性	78.0%
7位	省エネルギー性	74.6%
8位	住まいのランニングコスト	74.1%
9位	耐火性	71.2%
10位	防音・遮音性	70.0%

省エネ性能向上・普及への進化

新技術の開発

パッシブな技術の併用

入居顧客との接点強化

定期的なアドバイスなど

**性能の「見える化」
(体験含む)**

体験宿泊実施企業が増加

自社ビルの省エネ化

金銭的なメリットの提供

金利優遇、電気量負担など
